

新型コロナウイルス感染症についての重要なお知らせです。

まず、最新の感染状況をお伝えします。

6月20日に三重県内で新たに確認された感染者は4人でした。

近隣府県では京都16人、大阪106人、兵庫19人、滋賀10人、奈良12人、和歌山3人、愛知84人で、東京都は376人の感染が報告されています。

市内では、今年1月の感染者数が111人と最も多く、4月が25人、5月が19人、6月は20日時点で14人ということで、感染者数自体は減少しています。三重県全域はこれまで「まん延防止等重点措置」が講じられていましたが、6月20日に解除されました。

しかし、感染拡大の恐れというものが決して減ったわけではありません。最近では、変異株の影響もあり若い世代が感染しやすく、また、家庭内感染が広がっているという傾向があります。「まん延防止等重点措置」が解除となった今も、私たちはまだまだ気をつけなければいけない状況です。

県では注意喚起のため、6月21日（月）から30日（水）までを「三重県リバウンド阻止重点期間」に設定しました。期間中、基本的な感染防止対策の徹底をすること、変異株に十分な警戒をしようということが呼びかけられています。

また、県民の皆さんに向けて、次のような注意喚起がされています。

- 生活の維持に必要な場合を除いて、県境を越える移動は避けて
- 県内の移動は、必要性、安全性を慎重に検討
- 家族以外との会食は少人数、短時間で
- 基本的な感染防止対策を

このうち、県境を越える移動についてですが、伊賀市は、京都府南山城村・笠置町・奈良県山添村とともに、伊賀城和（伊賀・山城南・東大和）定住自立圏を形成しています。また、伊賀市と甲賀市はいこか連携を結んでいます。どちらも生活行動圏を共有しているということで、県境を越える移動というものから外れるエリアであるをご理解ください。

基本的な感染防止対策という点では、これから夏季を迎え暑くなりますので、マスク着用や換気について、熱中症に注意していただきながら対策を行っていただきたいと思います。

次に、県から事業者の皆さんに向けてのお願いをお伝えします。

- 飲食店において感染防止対策の徹底を（アクリル板の設置、換気の徹底など）
- 飲食店等を対象に感染防止対策に関する認証制度「あんしん みえリア」の積極的な活用を
- 勤務時間外も含め、従業員への感染防止対策の周知徹底を
- 業種別感染拡大予防ガイドラインの遵守を

県は飲食店などを対象とした認証制度を作りましたが、伊賀市は県に先駆けた取り組みを行っています。1日も早く市民の皆さんに安心してお店を利用いただけるよう、またお店にも元気になってもらえるよう、マイメロディといが☆グリオがデザインされた「感染防止対策実施店」ステッカーを作成しました。感染防止対策が十分されていると市が認めた事業者を対象に、このステッカーを交付します。6月21日（月）に、第1号となる店舗に私が伺い貼ってまいりました。市内事業者の皆さんには、ぜひ申請いただきたいと思います。

【「感染防止対策店」実施ステッカー交付申請について】

対象：新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいる事業者

申請期限：令和4年2月28日（月）

問い合わせ：商工労働課 電話 0595-22-9669

皆さんにはいつもお願いしていることですが、自らの身を守るために、引き続き感染リスクが高まる次の5つの場面にご注意ください。

【場面1 飲酒を伴う懇親会等】

大声、回し飲み、箸の共用により感染リスクが高まります。

【場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食】

大人数・長時間では、飛沫の感染リスクが高まります。

【場面3 マスクなしでの会話】

飛沫感染リスクが高まります。カラオケや車中でも気をつけてください。

【場面4 狭い空間での共同生活】

長時間、閉鎖空間が共有されることで感染リスクが高まります。

【場面5 居場所の切り替わり】

休憩時間などに休憩室や喫煙ルームに行くなど、気の緩みや環境の変化が感染リスクになります。

ただ、先ほどもお伝えしたとおり夏場は熱中症の危険もありますので、十分気を付けながら対策をお願いします。

そのように注意している中でも、新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれない、発熱や咳など心配な症状が出たということもあるかもしれません。そういうときには、まずかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医がない場合は、受診・相談センターに相談をしていただき、案内された医療機関で受診いただくようお願いします。

【受診・相談センター（土・日・祝も対応）】

- 午前9時～午後9時：伊賀保健所 電話 0595-24-8050
- 午後9時～午前9時：三重県救急医療情報センター 電話 059-229-1199

いまだ、感染拡大の恐れというものはなくなっておりません。大きな国家的イベントも予定されていますが、私たちはしっかりと自分自身を守る必要があります。皆さん、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

2021（令和3）年6月21日
伊賀市長 岡本 栄